

みんなの+1歩をつなぐアクション



いわきの地域共生

地域福祉計画について

令和7年度 第3回いわき市地域共生社会推進会議 “IWAKI & MEETING”

令和8年3月19日(木) / 総合保健福祉センター(多目的ホール)

- 1 前回会議までの振り返り・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 2 現時点の地域福祉計画(案)について・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
- 3 今後の主なスケジュール(予定)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・41

1 前回会議までの振り返り

1 前回会議までの振り返り

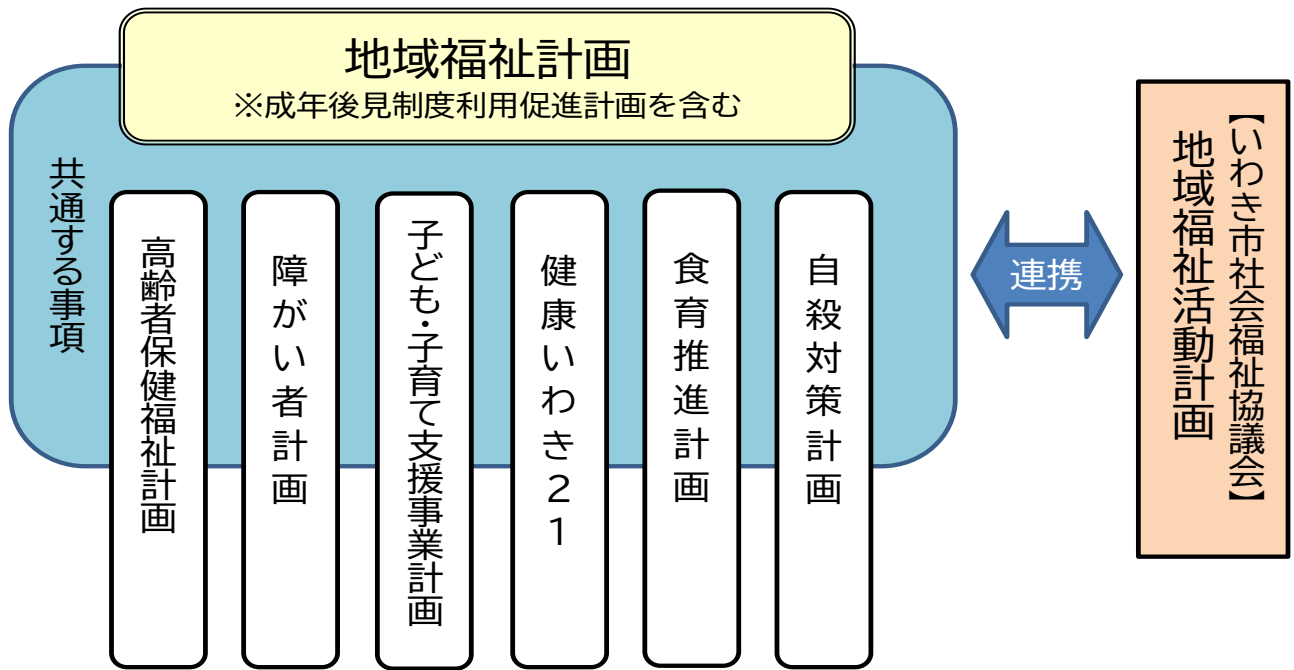
現行のいわき市地域福祉計画の概要

位置づけ

- ✓社会福祉法第107条に規定する**行政計画**
- ✓「以和貴まちづくり基本条例」の「様々な主体が共に地域の課題解決に取り組む」という理念を基本とした**福祉分野の総合計画(上位計画)**

個別計画との関係

保健福祉分野に関する個別計画が持つ**個別・専門的な考え方**や**取り組みを総合的に横につなぐ計画**



新たな地域福祉計画策定に向けた方向性・ポイント

令和9年度を始期とした計画とし、R7～R8年度の2カ年で策定

計画期間

- ① 現行計画と同様に6年の計画期間とする
 - ▶ 主な関連計画と計画期間を合わせて推進できる等
- ② そもそも計画期間を設定しない
 - ▶ 状況変化に応じて柔軟に見直せる／名称を「ビジョン・方針」とする等

新たな地域福祉計画策定に向けた方向性・ポイント

計画構成

計画名称・章立て・文章などは**伝わる表現**に
市民・事業者等と共有することを意識した「伝わる・生きる」計画に

- ・ 現行計画は100ページのボリュームで文字量も多く、読んでいただけのものにはなっていないため、すべてにおいて**わかりやすい・伝わる表現**に工夫しつつ、**文字量を制限**し、可能な限り**全体ボリュームを減らす**。
 - ▶ 分野別の現状分析・課題・具体的な事業等の掲載は各個別計画に（個別計画の詳細内容を知りたい方向けに“QRコード”を掲載する等の工夫）
 - ▶ アンケート結果/パブコメ結果/検討経過等は資料編として別に集約
- ・ 市民・事業者等と共有することを念頭に、**各主体の役割（市民/自治会/関係団体/事業者/行政/社会福祉協議会等）**を記載

新たな地域福祉計画策定に向けた方向性・ポイント

地域共生社会

現行計画でも「住み慣れた地域で共に生き、支え合い、誰もが安心して、健康で自分らしく暮らせるまちいわき」の基本理念のもと、「**地域共生社会**」の実現に向けて**関連施策を推進**

- 新たな計画では、**地域共生社会の実現に向けた考え方や方向性について、計画の基本的な考え方(この計画で目指すもの)の「基本理念」や「基本目標」、「取り組みの方向性」などを中心に落とし込んでいく。**

1 前回会議までの振り返り

新たな地域福祉計画策定に向けた方向性・ポイント

計画推進 のしくみ

分野別の個別計画に基づく施策が効果的・効率的に推進されるよう、上位計画として、**取り組みの方向性等を明確にする計画**に（個別施策は位置付けない）

- ・ 個別の取組・事業等については、各個別計画において点検・評価を行い推進
- ・ 新たな試みとして**目指すべき指標**（例：しあわせ調査の「幸せ度6.61点▶7.0点」、「暮らしの満足度5.85点▶6.0点」等）を設けることなどを検討
- ・ 地域共生社会の実現に向けたいわき市のスタンスや、市民1人ひとりのアクション（行動）などを掲載する「**(仮)地域共生アクションプラン**」を作成

新たな地域福祉計画策定に向けた方向性・ポイント

反映・連携する関連計画

重層的支援体制整備事業実施計画（保健福祉課／単独作成済・未反映）
成年後見制度利用促進計画（保健福祉課／現行計画に考え方等を反映済）
再犯防止推進計画（保健福祉課／未作成）
地域福祉活動計画（いわき市社会福祉協議会／単独作成中・連携）等

- ・ 反映・連携の方法等については、担当部門と協議のうえ、**今後検討**していく。
（個別に作成し連携を図る計画とするのか、地域福祉計画に考え方等を掲載する計画でいいのかなどを整理）

1 前回会議までの振り返り

地域福祉に関するアンケート調査結果(地域福祉計画策定にむけた基礎調査)

○ アンケート結果の総括 (まとめ)

1 地域活動の活性化 >> 「地域福祉計画」 / 「(仮)地域共生アクションプラン」

現在、地域では、近所付き合いの希薄化が進むとともに、地域活動への関心が低い状況にあることが見受けられる。一方で、多くの方が、地域の福祉を良くするためには、**住民が行政に協力する必要があると認識**しており、実際に協力できると考えている。

このため、より多くの方が地域活動に参加できるよう、個々のライフスタイルに応じた柔軟な協力体制に配慮するなど、**地域住民が互いに協力し、助け合える地域社会づくり**に取り組む必要がある。

特に、災害時における地域での適切な支援体制を作っていくことが重要である。

2 情報発信の強化 >> 「地区保健福祉センター(包括的相談)」 / 「行動つながる情報発信」

市民の多くは、必要な福祉サービスの情報を、広報誌やインターネット・SNSなど、様々なツールを用いて入手している。

一方で、必要な情報を得られず、相談先がわからないといった層も存在することから、**気軽に相談できるよう相談窓口を明確**にするとともに、必要な情報を正しく周知するため、対象者に応じて広報手段を工夫するなど、**より一層の情報発信の強化**に努める必要がある。

また、成年後見制度や再犯防止など、今後重要となる取り組みについて、市民への周知が不十分であることから、さらなる周知啓発が必要である。

1 前回会議までの振り返り ▶ 地域福祉計画のフレーム案

第1章 計画の概要(この計画ってどんなもの?)

- 1 計画の目的(策定の背景・趣旨等)
- 2 計画の位置づけ(関連計画との関係性を視覚化)
- 3 計画期間(関連計画の期間とともに視覚化)
- 4 策定体制(推進会議/アンケート調査/パブコメ/団体ヒアリング等)
- 5 地域福祉・地域共生社会について(概要等)

第2章 計画の基本的な考え方(この計画で目指すもの)

1 基本理念(要検討/現行の理念を継承するか、リニューアルするか等)

(現行計画の基本理念)

『住み慣れた地域で共に生き、支え合い、誰もが安心して、健康で自分らしく暮らせるまち いわき』

2 基本目標(要検討/基本理念等を踏まえて整理)

(現行計画の基本目標)

- 1 共に生きる社会をつくるために
- 2 支え合い、誰もが安心できる地域をつくるために
- 3 健康で自分らしい暮らしをつくるために

3 計画体系(要検討/基本理念・基本目標等を踏まえて整理)

- ・ 計画の全体像として「基本理念」「基本目標」「施策の方向性」のイメージ図

基本目標1 共に生きる社会をつくるために ▶ 7施策

- ①本人の意思の尊重②子ども・子育て支援の充実③高齢者福祉の充実④障がい者福祉の充実⑤生活困窮対策の充実⑥社会的孤立対策の充実⑦多文化との共生

基本目標2 支え合い、誰もが安心できる地域をつくるために ▶ 10施策

- ①福祉意識の醸成②地域福祉の担い手づくり③福祉ボランティア活動推進④見守り支援体制⑤虐待防止体制⑥相談・支援機関ネットワーク強化⑦避難行動要支援者支援制度⑧防犯対策⑨交通手段や住まいの確保⑩権利擁護・成年後見の充実

基本目標3 健康で自分らしい暮らしをつくるために ▶ 3施策

- ①健康づくりの推進②保健医療体制の充実③産業、教育などの保健福祉以外の様々な分野との協働

第3章 施策の方向性(この計画で取り組むこと)

- ・ 基本目標を実現するための施策の方向性を記載(要検討/方向性のみ記載)

第4章 計画の推進(この計画の進め方)

- ・ 推進方法(各主体の役割等)/進行管理(計画の見直し等)

資料編(別冊)

- ・ 会議の概要・検討経過/アンケート・パブコメ結果詳細/用語集等

1 前回会議までの振り返り ▶ (仮)地域共生アクションプランのフレーム案

1 いわきの地域共生が目指すもの

- ① アクションプランのねらいとは？ (アクションプランの紹介、なぜアクションプランをつくったのか等)
- ② いわきの地域共生が目指すところ (いわきの地域共生”&”の紹介)
- ③ アクションプランの使い方

2 アクション(1人ひとりの行動)

(例)
私ができること

私は〇〇できる！

(例)
誰かとできること

一緒に〇〇しよう！

(例)
声をあげること

〇〇してほしい！

3 地域の活動団体の紹介

委員の皆さまのご紹介、地域の活動団体 などを想定

2 現時点の地域福祉計画(案)について

いわき市地域共生ビジョン(案)

ご提案

[いわき市地域福祉計画]

(名称を地域共生ビジョンとしている理由)

これまでの協議において、本市の「地域福祉」や「地域共生社会」の推進に向けた方向性や基本的な考え方、取り組みの方向性などを示すものとする事や、各分野における現状・課題、個別事業の進行管理等については連携する個別計画でカバーしていくものと整理しています。

このため、いわき市の地域福祉計画として位置付けるものの、名称は「地域福祉計画」ではなく「地域共生ビジョン」とします。

1 このビジョンってどんなもの？(概要)

2 このビジョンで目指すもの(基本的な考え方)

3 このビジョンで進めていくもの(取り組みの方向性)

4 このビジョンの進め方(推進方法)

1

このビジョンってどんなもの？ (ビジョンの概要)

1 このビジョンってどんなもの？(概要)

ビジョンの 位置づけ

市町村地域福祉計画として位置づけ(社会福祉法第107条)

H12:策定を規定/H29:努力義務化

背景

人口減少・少子高齢化／核家族化／つながり希薄化／価値観の多様化 等

ひきこもり(孤独・孤立)
複雑化した課題
生活困窮

8050問題
高齢の親
無職・独身の子

ダブルケア
介護/子育て
介護/障がい

ヤングケアラー
介護・世話を
過度に行う子ども

認知症
認知症の家族を
抱える世帯

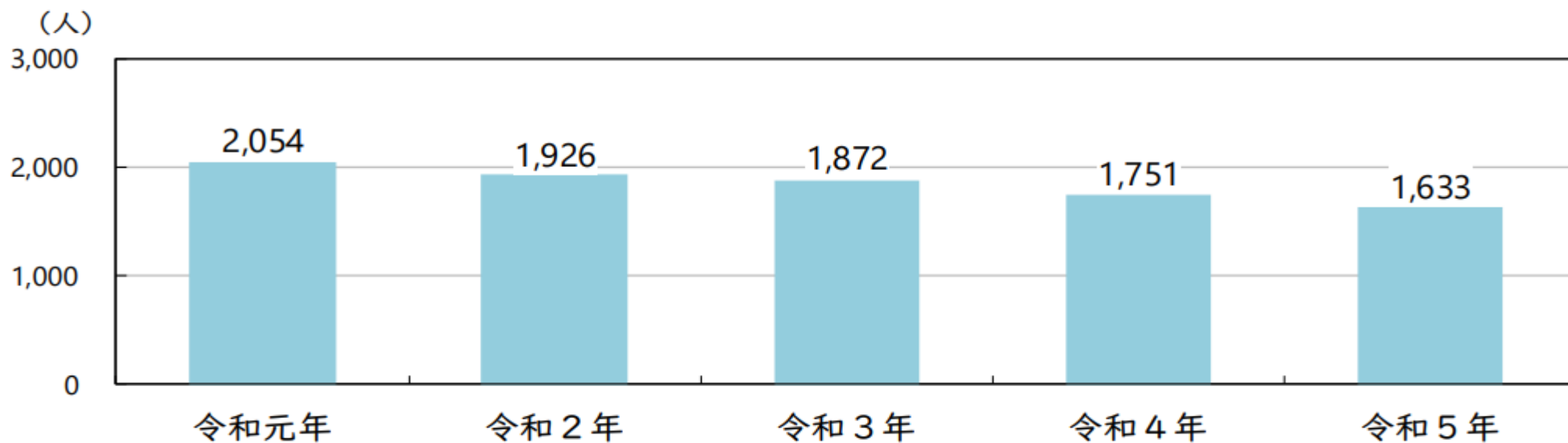
など...

既存の縦割りシステム・制度ではカバーしきれない複雑化・複合化する支援ニーズへの対応



一人の後期高齢者を支える生産年齢人口

(第2期いわき創生総合戦略より)



		平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)	令和5年 (2023)
総人口		324,706人	322,040人	319,028人	315,566人	311,820人	307,558人
高齢者数	人口	96,827人	97,598人	98,461人	98,954人	98,845人	98,616人
	対総人口比	29.8%	30.3%	30.9%	31.4%	31.7%	32.1%
前期高齢者数	人口	48,079人	48,014人	48,949人	50,047人	48,836人	47,120人
	対総人口比	14.8%	14.9%	15.3%	15.9%	15.7%	15.3%
後期高齢者数	人口	48,748人	49,584人	49,512人	48,907人	50,009人	51,496人
	対総人口比	15.0%	15.4%	15.5%	15.5%	16.0%	16.7%

1 このビジョンってどんなもの？(概要)

人口減少・少子高齢化

- ✓高齢者は横ばい、支える世代は減少、出生数も減少
- ✓支える側の減少 ▶ 働く人の減少、税収減少 等
- ✓支えられる側の増 ▶ 社会保障費の増 等

経済・社会・行政の活力低下
地域そのものの存続の危機

1 このビジョンってどんなもの？（概要）

ビジョンの目的

- 本市では、平成 19（2007）年に「いわき市地域福祉計画」を策定して以降、東日本大震災から得た教訓や経験、地域福祉に関する動向などを踏まえながら改定を重ねてきました。
- また、いわき市社会福祉協議会が策定する「地域福祉活動計画」と連携しながら、多くの市民や団体が主体的に福祉活動に取り組み、ともに助け合い支え合う地域社会を基盤とした地域福祉を総合的かつ計画的に進めてきました。
- 現在の地域福祉計画が令和 8（2026）年度をもって終期を迎えること、**いわき市としての「地域福祉」や「地域共生社会」の推進に向けた方向性や基本的な考え方、取り組みの方向性などを示すため、令和 9（2027）年度から、新たに「いわき市地域共生ビジョン」として策定します。**

このビジョンってどんなもの？(概要)

連携する個別
計画を整理

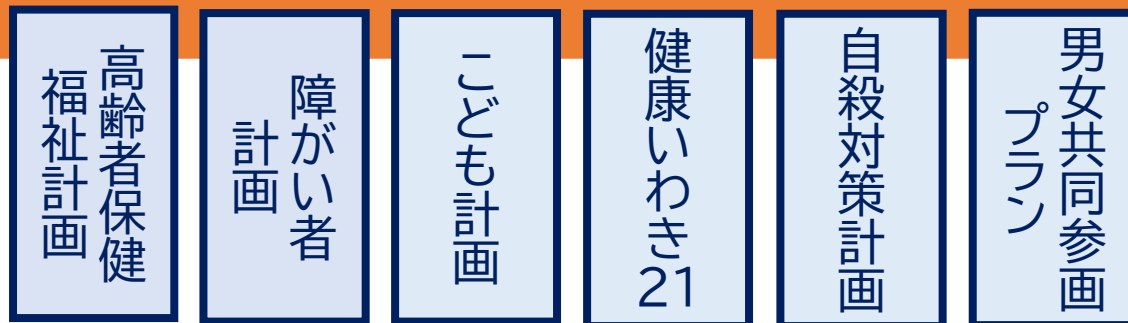
分野別計画等 との関係

地域共生ビジョンに関する主な計画等

まちづくりの理念(以和貴まちづくり基本条例)
未来ビジョン(現在策定中) → 理念・方向性



地域共生ビジョン (社会福祉法第107条)



重層的支援体制整備事業実施計画
成年後見制度利用促進計画／再犯防止推進計画

各分野における現状・課題の分析、個別事業の位置づけ・進行管理等は連携する個別計画がその役割を担う

いわき市社会福祉協議会が策定

地域福祉活動計画

社協が呼びかけ、住民・社会福祉活動者・社会福祉事業者が協力して策定(民間の活動・行動計画)

連携

このビジョンってどんなもの？(概要)

分野別計画等との関係性

31万人のまちづくり未来ビジョンとの連携

市制施行60周年を節目に、市の未来を担う若者たちと、31万人の市民一人ひとりの声に耳を傾け、100年目のいわきを見据えた新たなビジョンを市民の皆様とともに描きます。

わたしの声で旗を編む

あなたが今、一番大切にしている言葉はなんですか？



いわき31万人のまちづくりビジョン策定プロジェクト

中期戦略の策定

未来ビジョンの実現に向け、戦略的に事業を進めるため**中期戦略を策定**

地域自治のあり方

地域の実情に応じた、**持続可能な地域自治システム**を検討

地域人財の活用

ボランティアやシニア世代の活用、企業、団体の地域貢献マッチングなど、**地域人財の活用**を検討

実現に向けて

未来ビジョン

100年目も、変わらず、市民の皆様笑顔が輝くまちづくりを実現します。

あなたの声も、お寄せください！

いわき市に暮らす、若い世代を中心とする人たちが集まり、これからの時代にふさわしいまちづくりビジョンを考えるプロジェクトです。

だれか偉い人が決めるんじゃない。それぞれの「わたし」の声から、1枚の布を編むように、ビジョンの旗を編んでいきたい。あなたの声もお寄せください！



プロジェクトサイト



あなたの声
(アンケートフォーム)



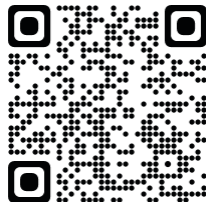


ヒアリング団体募集

このビジョンってどんなもの？(概要)

分野別計画等 との関係性




地域共生ビジョンに関わる主な計画等

計画等名称	概要	QRコード
まちづくりの基本方針 (旧総合計画)	普遍的な「まちづくりの理念(以和貴まちづくり基本条例)」と、環境変化に柔軟に対応する「まちづくりの経営指針(事業/毎年見直し)」の2つを柱に、「よりわかりやすく、かつ、機動的に政策効果の高い事業推進を図ることができる」方針を目指し策定したものの。	
高齢者保健福祉計画	市の高齢者保健福祉施策の推進にあたっての基本的な方向性や、今後3カ年における介護保険サービスの給付見込みと施設等の整備目標の設定、これに基づく介護保険第一号被保険者の保険料設定などを盛り込んだもの。	
障がい者計画	障がいのある方に関する施策の総合的な推進を目的に、「すべての市民が、相互に支え合い、地域で安心して暮らすことのできる『共生社会』の実現」を基本理念とし、障がい者施策の基本的方向を総合的、体系的に定めたもの。	

このビジョンってどんなもの？（概要）

分野別計画等 との関係性

地域福祉ビジョンに関わる主な計画等

計画等名称	概要	QRコード
こども計画	こども・子育て支援施策を総合的に推進するため、こども基本法の趣旨に基づき、子ども・子育て支援事業計画、次世代育成支援行動計画、こどもの貧困の解消に向けた対策計画、子ども・若者計画、成育医療等に関する計画を一体的に定めたもの。	
健康いわき21 (食育推進計画を含む)	健康課題を踏まえた、指標や数値目標の設定、重点施策の方向性等を示すことで、市民が生涯にわたり心身ともに健康で、生き生きと生活ができる健康長寿社会の実現を目指すことを目的に策定したもの。	
いのちをまもり支える計画 (自殺対策計画)	誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指し、本市の自殺対策を引き続き効果的かつ総合的に推進することを目的に策定したもの。	

1 このビジョンってどんなもの？（概要）

ご提案

ビジョンの期間と見直し方

本ビジョンは、いわき市としての「地域福祉」や「地域共生社会」の推進に向けた方向性や基本的な考え方、取り組みの方向性など、実現したい展望を示すものです。

また、国の地域共生社会の在り方検討会議において、令和6年5月に、2040年に向けて、すべての市町村で福祉分野を超えた連携や地域との協働が進み、包括的な支援体制の整備を通じた地域共生社会の実現を目指すこととしています。

このため、本ビジョンは、期間を設定せず、2040年を見据えながら推進することとし、地域福祉や地域共生社会を取り巻く現状や生活課題の変化、市民ニーズ等を的確に踏まえながら、適宜柔軟に見直せるものとしします。

策定体制

進行中

いわき市地域共生社会推進会議

ビジョン策定に向けた官民連携での協議
(R7～R8年度)今後
実施
(予定)

パブリックコメント

ビジョン策定に向けた市民意見募集
(R8.12月頃予定)

実施済

地域福祉に関するアンケート調査

R7.5.2～5.22調査実施／WEB調査
回答657件今後
実施
(予定)

団体・事業者等ヒアリング

ビジョン策定に向けたヒアリング
(31万人まちづくりビジョンPJとの連携等)

1 このビジョンってどんなもの？(概要)

地域福祉について

「福祉」とは、「**幸せ**」であることです。

「地域福祉」とは、住み慣れた地域の中で、1人ひとりが自分らしく幸せな日常生活を安心して送れるよう、市、地域住民、事業者など、あらゆる人や団体などが協力し、「**つながり**」・「**支え合う**」ことです。

社会福祉法に基づき、各市町村では、地域福祉の推進に向けた様々な取り組みを進めています。

地域福祉を推進していくためには、1人ひとりがそれぞれの役割を果たしながら、連携・協力することが必要です。

1人ひとりの
主体的な活動

助け合い・支え合い
ボランティア



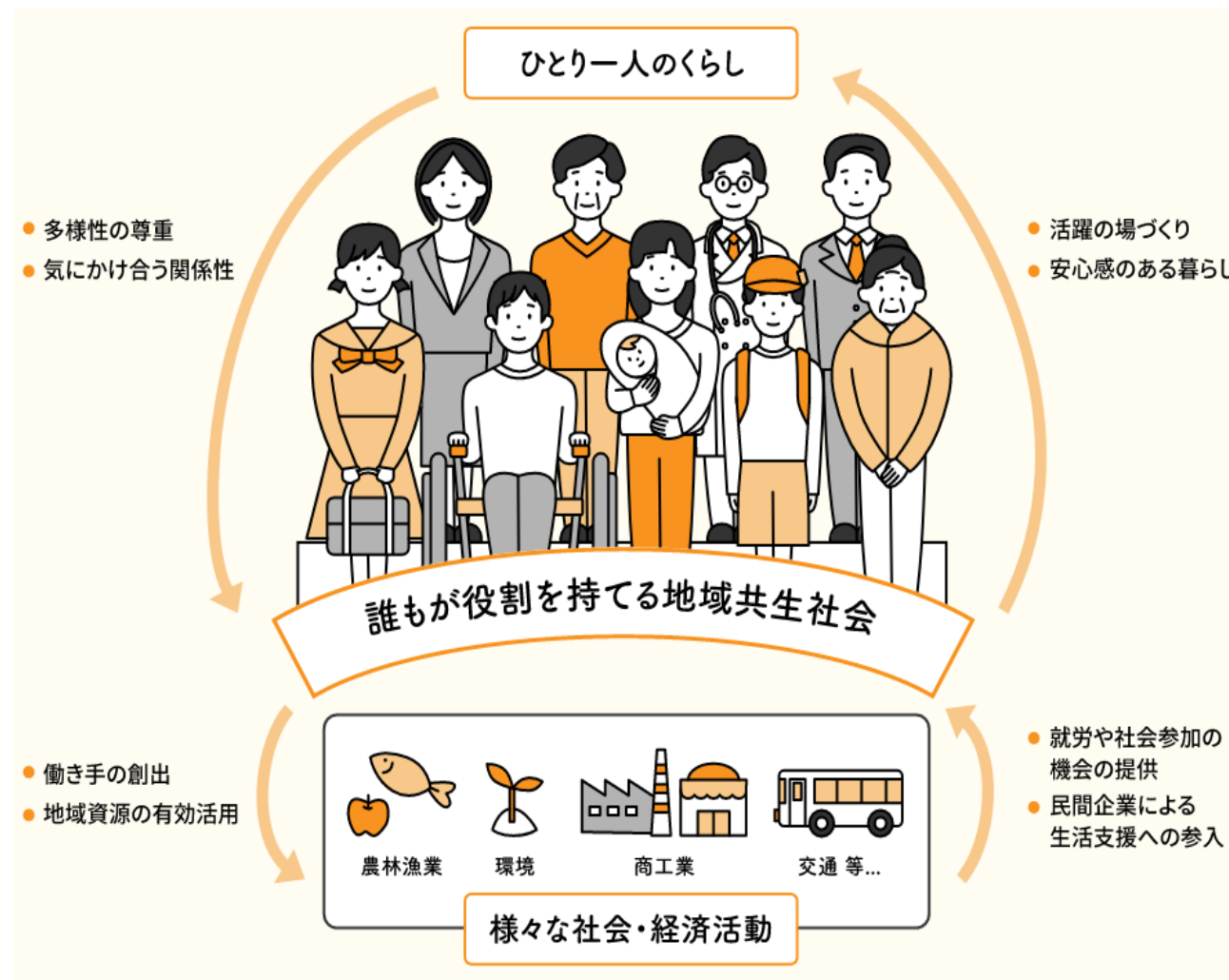
社会保障制度など
による相互扶助

行政による公的支援

1 このビジョンってどんなもの？(概要)

地域共生社会について

制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで**住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会**を指しています。



1 このビジョンってどんなもの？(概要)

地域共生社会のポイント

1 「縦割り」を**超える**

制度の狭間への対応／各分野の専門性の活用／関係機関・関係者ネットワークで対応

2 「支え手」「受け手」の関係を**超える**

一方向から双方向の関係性へ／固定化された関係から支え合う関係性へ

3 「世代」「分野」を**超えてつながる**

世代を問わない対応／福祉以外の分野と一緒に(保健医療、労働、教育、住まい、地域再生、農業・漁業など)

1 このビジョンってどんなもの？(概要)

地域共生社会のキーワード

超える  つながる

1人ひとりがこれまでの枠組み・考え方を「超えて」「つながる」
ことでウェルビーイング※な暮らし・地域を持続させること

※身体的・精神的・社会的に「well=良い」「being=状態」にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念

1 このビジョンってどんなもの？（概要）

地域福祉・地域共生社会を進めるにあたって

いわきの地域福祉・地域共生は「&」をテーマに
推進します！



「&」とは誰かと・何かと
「つながる」という意味

そのつながりが1人ひとりの
あんど
「安堵 = 安心」をもたらす

いわきの地域共生

1人ひとりが「幸せ」を感じられる

「ウェルビーイング」な社会を目指して

いわきの地域福祉・地域共生は

1人ひとりが「これならできる」「こうしてもらいたい」を

今より少し意識してみたり、

それぞれの専門性・資源を活用したり、整えたり、

担当ではなくても横にある制度・分野を少し意識してみたり、

みんなの+1歩のアクションを“&”でつないでいきます。

1人ひとりが認め合い・助け合う広がり

「縦割り」、「支え手・受け手」、「世代・分野」のスキマを

超えて、つながり、1人ひとりが幸せを感じられる

ウェルビーイングな社会を目指します。

2 このビジョンで目指すもの(基本的な考え方)

2

このビジョンで目指すもの(基本的な考え方)

基本理念

※ 住み慣れた地域で共に生き、支え合い、誰もが安心して、健康で自分らしく暮らせるまち いわき

基本目標

※ I 共に生きる社会をつくる

※ II 支え合い、誰もが安心できる地域をつくる

※ III 健康で自分らしい暮らしをつくる

取り組みの方向性 ・ 考え方

- ※
- 1 本人の意思の尊重
 - 2 子ども・子育て支援の充実
 - 3 高齢者福祉の充実
 - 4 障がい者福祉の充実
 - 5 生活困窮対策の充実
 - 6 孤立対策の充実
 - 7 多文化との共生

- ※
- 1 福祉意識の醸成
 - 2 地域福祉の担い手づくり
 - 3 福祉ボランティア活動推進
 - 4 見守り支援体制
 - 5 虐待防止体制
 - 6 相談・支援機関ネットワーク強化
 - 7 避難行動要支援者への支援
 - 8 防犯対策
 - 9 交通手段や住まいの確保
 - 10 権利擁護・成年後見の充実

- ※
- 1 健康づくりの推進
 - 2 保健医療体制の充実
 - 3 産業、教育などの保健福祉以外の様々な分野との協働

- ・地域共生社会の視点
- ・地域共生社会、孤独孤立対策、再犯防止等の視点
- ・既存の取り組みの整理

3

このビジョンで進めていくもの(取り組みの方向性)

このビジョンで進めていくもの(取り組みの方向性)

掲載イメージ

※参考:現行計画

基本目標

※ I 共に生きる社会をつくる

※ II 支え合い、誰もが安心できる地域をつくる

※ III 健康で自分らしい暮らしをつくる

取り組みの方向性 ・ 考え方

※

- 1 本人の意思の尊重
- 2 子ども・子育て支援の充実
- 3 高齢者福祉の充実
- 4 障がい者福祉の充実
- 5 生活困窮対策の充実
- 6 孤立対策の充実
- 7 多文化との共生

※

- 1 福祉意識の醸成
- 2 地域福祉の担い手づくり
- 3 福祉ボランティア活動推進
- 4 見守り支援体制
- 5 虐待防止体制
- 6 相談・支援機関ネットワーク強化
- 7 避難行動要支援者への支援
- 8 防犯対策
- 9 交通手段や住まいの確保
- 10 権利擁護・成年後見の充実

※1 健康づくりの推進

- 2 保健医療体制の充実
- 3 産業、教育などの保健福祉以外の様々な分野との協働

- ・地域共生社会の視点
- ・地域共生社会、孤独孤立対策、再犯防止等の視点
- ・既存の取り組みの整理

今後、団体・事業者ヒアリング、庁内関係部署への照会などを踏まえながら
取り組みの方向性・考え方などを整理

3

このビジョンで進めていくもの(取り組みの方向性)

基本目標

I ●●●●●●●●

連携計画

●●●●●●計画
●●●●●●計画

主な現状・課題

●●●●●●●●

考え方・方向性等

●●による支援

●●●●●●による支援を行います。

●●の仕組み

●●●●●●の仕組みをつくります。

4

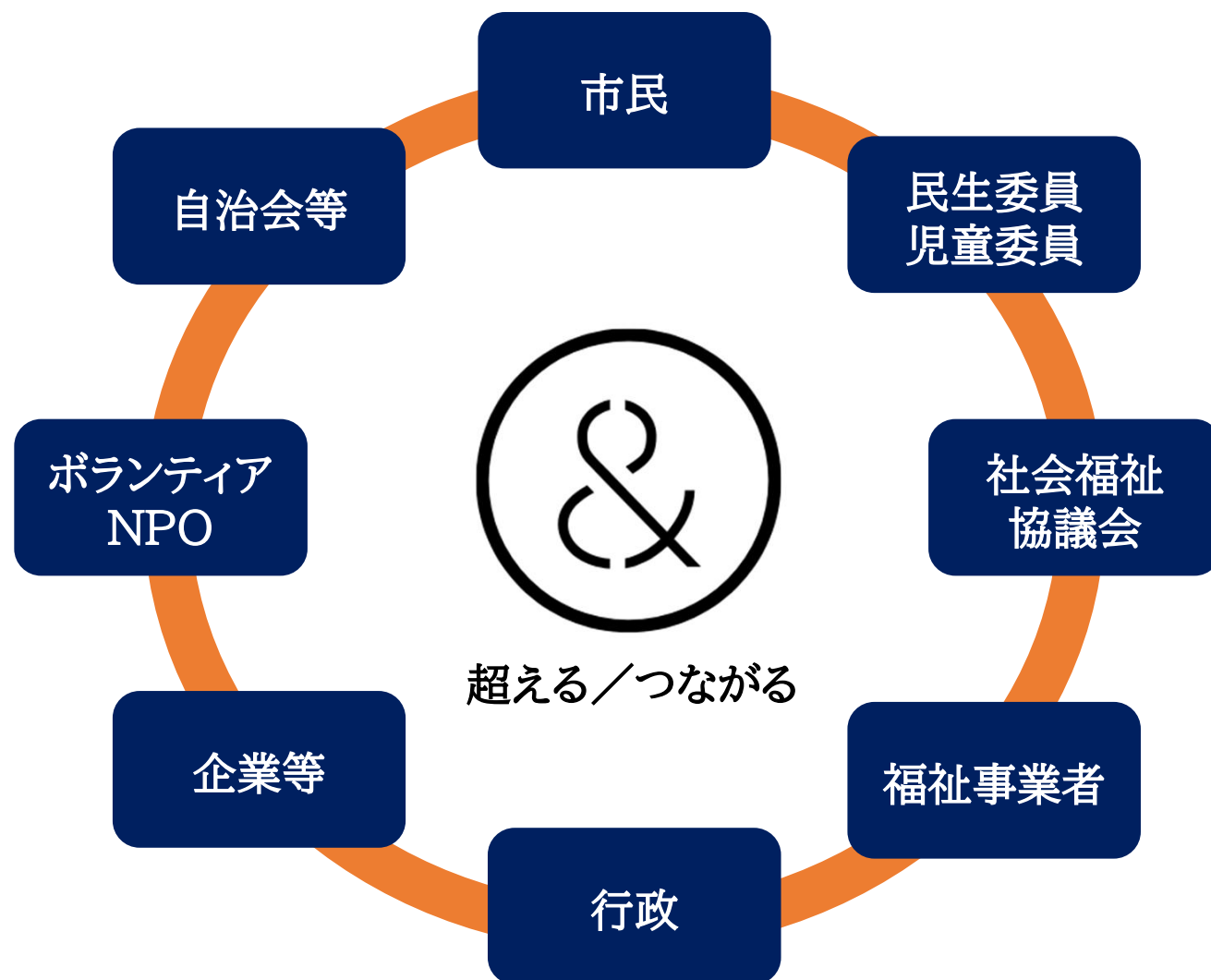
このビジョンの進め方(推進方法)

4 このビジョンの進め方(推進方法)

ビジョンの推進

いわき市全体で地域福祉や地域共生社会を推進していくためには、それぞれの主体が地域社会に必要な担い手であることを認識し、それぞれの役割を果たしながら、連携していくことが重要です。

そして、それぞれの主体が今以上に寄り添い、超えてつながることで、いわきに住む1人ひとりが幸せを感じられるウェルビーイングな社会を目指します。



主体ごとの
役割

市民	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の暮らす地域に関心を持つ ●できるところから地域に関わり、暮らしやすい地域づくりを心がける
自治会等	<ul style="list-style-type: none"> ●市民の生活を支える活動を持続させる ●支援が必要な人や地域課題を把握し、支援サービス等につなぐ
ボランティア NPO	<ul style="list-style-type: none"> ●取り組んでいる活動を充実させる ●各主体と連携し、活動を主体的に推進する
福祉事業者	<ul style="list-style-type: none"> ●質の高い支援サービスを提供する ●地域福祉の推進に必要な支援サービスを創出する
企業等	<ul style="list-style-type: none"> ●仕事を通して気づいた地域課題の解決に向けた活動をする ●ノウハウや人材を活かす
民生委員 児童委員	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の身近な相談役、市民と行政等とのつなぎ役となる ●市民同士の支えあい・助けあい活動の核として委員活動を持続する
社会福祉 協議会	<ul style="list-style-type: none"> ●地域課題の解決に向けた住民主体の活動・事業を企画・実施する ●本ビジョンを踏まえ、地域福祉活動計画を策定し行政とともに推進する
行政	<ul style="list-style-type: none"> ●地域福祉・地域共生社会の推進のための施策等を総合的に推進する ●行政のまちづくり未来ビジョンや各分野別計画との整合性を図る

4 このビジョンの進め方(推進方法)

ご提案

地域福祉や地域共生社会を推進する目的は、1人ひとりが「幸せ」を感じられる暮らしにつながっていくことです。そこで、このビジョンを進めていく上での1つの指標として、しあわせ調査で毎年度把握している「幸せ度」「満足度」をKGI(重要目標達成指標)として設定し、毎年のしあわせ調査で観測していくこととします。

KGI
重要目標達成指標

1 **幸せ度** (どの程度幸せか = 地域福祉)

6.61点/10点

2024年調査



8.00点/10点

2040年頃までに達成

4 このビジョンの進め方(推進方法)

ご提案

KGI
重要目標達成指標

2 暮らし満足度 (暮らしにどの程度満足か = 地域共生社会)

5.85点/10点

2024年調査



7.00点/10点

2040年頃までに達成

4 このビジョンの進め方(推進方法)

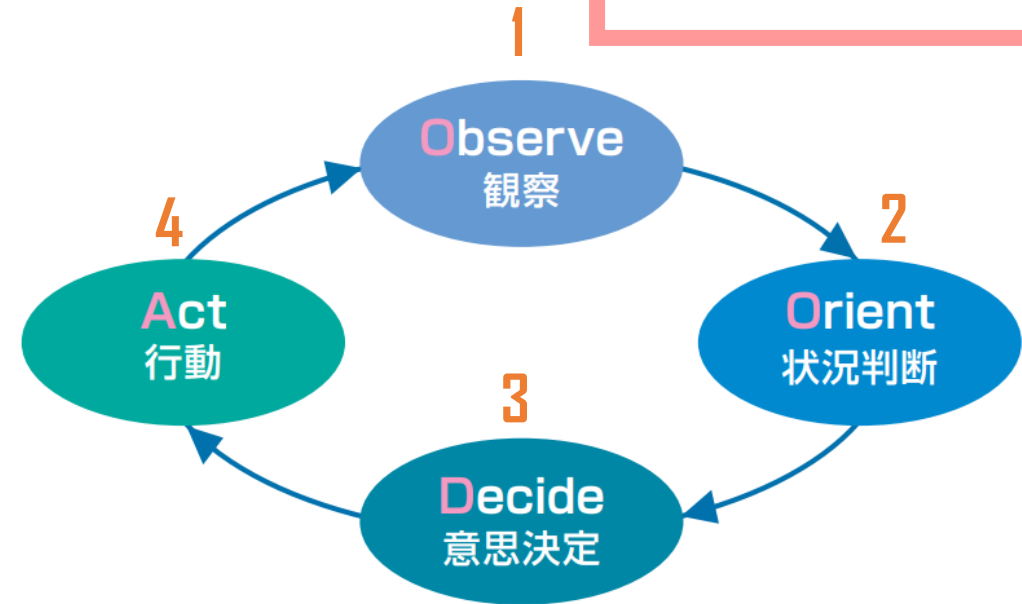
見直し方法

状況変化に対応した推進手法

本ビジョンは、いわき市としての「地域福祉」や「地域共生社会」の推進に向けた方向性や基本的な考え方、取り組みの方向性などを示すものであり、各分野の個別の取り組みや事業等を評価・見直し等は、連携する分野別の個別計画に委ねています。

このため、地域福祉や地域共生社会に関連する国の動向や、本ビジョンと連携する分野別の個別計画の見直し状況等を踏まえ、常に柔軟に見直せるものとしします。

見直しは、状況変化を踏まえた見直しに柔軟かつ迅速な意思決定が可能なOODA ループの手法を採用し、地域共生社会推進会議における協議等を踏まえるものとしします。



POINT

- 1 常に現状・課題等を把握(国／個別計画等)
- 2 どの部分をどう見直すかを判断
- 3 地域共生社会推進会議による決定
- 4 ビジョン見直し／情報共有

資料編(別冊)

- 1 地域共生社会推進会議(IWAKI & MEETING)の概要／検討経過
- 2 地域福祉に関するアンケート調査結果
- 3 パブリックコメント(市民意見募集)結果
- 4 団体・事業者等ヒアリング結果
- 5 用語集

3 今後の主なスケジュール(予定)

今後の主なスケジュール(予定)



いわきの地域共生

推進会議

地域共生
ビジョン
(アクション含む)

